

昭和 대중人情ムービーをコミセンで!

めんたいぴりり



福岡発の明太子
波瀾万丈ストーリー

2023年夏に続編公開予定!

©2019「めんたいぴりり」製作委員会

2023年1月28日(土)

あらすじやチケットの受取方法、
お問い合わせは裏面をチェック!

【時間】①10:30~12:30 ②14:00~16:00 ③18:00~20:00 【定員】各回200名
【会場】コミセンわじろ 5階 多目的ホール 【料金】1,000円(全席指定)



WAJIRO Regional Community Center

【TEL】092-608-8480 【FAX】092-608-8485

【WEB】<https://wajiro.info>

〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目22-27 JR福工大前駅ビル内



公式HP

めんたい ぴりり

笑って！泣いて！ほっこり！ 博多明太子を夢見た夫婦の物語。

ストーリー

昭和30年代。戦後最大の引揚港でもあった福岡は戦争の傷跡を残したまま、復興を遂げようとしていた。主人公・海野俊之は焼け跡となっていた中洲の一角に小さな食料品店「ふくのや」を立上げ、妻の千代子と営んでいた。博多の祭り<博多祇園山笠>に情熱を燃やす「山のぼせ」でもあった。一方で俊之には山笠と並んで熱中しているものが…。それは「めんたいこ」作り。日々味の改良を重ねていたが、なかなか納得できる味に近づかず苦悩の毎日だった。

そんな時、俊之は息子・健一の同級生、英子の存在を知る。両親をなくし、親戚に引き取られていた彼女は遠足に行く為の新しい靴やリュックサックも買えないというのだ…

「めんたいぴりり」劇場版では、ドラマと同様に、戦後の混乱期を乗り越え、経済は復興から成長へとシフトしていく「昭和」という時代の光と影を描きます。劇場版「めんたいぴりり」はドラマでは語りきれなかったエピソードも加え、福岡の代表的な惣菜として知られることになった「辛子明太子」が出来上がるまでを「笑い」と「涙」と「人情」を交えながら描いていきます。

【監督】江口カン 【製作年】2019年

【出演】博多華丸、富田靖子 ほか

©2019「めんたいぴりり」製作委員会



チケットの受取方法

【料金】1,000円（全席指定）

※料金の徴収は、上映当日に行います。

1 コミセンわじろに来館して予約

… 2階の受付までお越しください。
（東区和白丘1丁目22-27 JR福工大前駅ビル内）

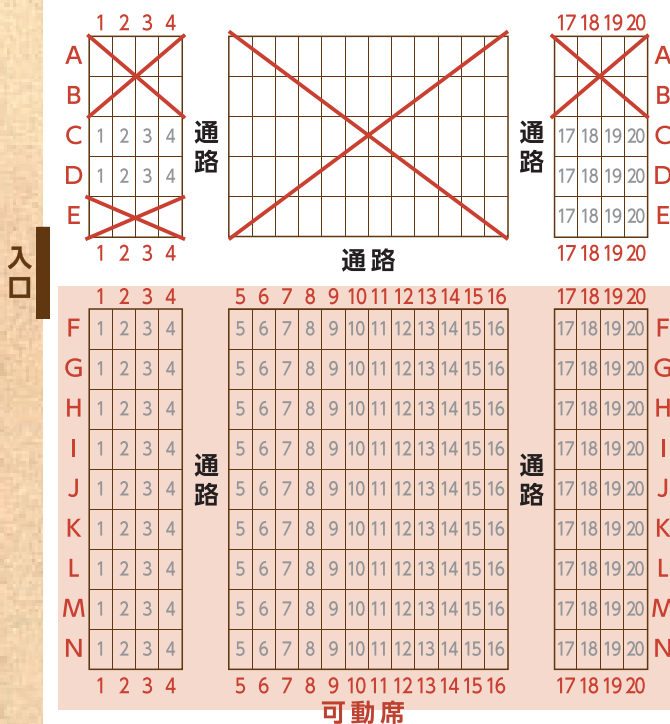
2 コミセンわじろに電話して予約

… ☎092-608-8480

コミセンわじろからのお願い・お知らせ

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、検温・消毒・マスクの着用などのルールにご協力ください。
- 新型コロナウイルス感染症などの社会的な状況により、本イベントは中止や延期をする場合がございます。ご了承ください。
- 報告書や広報などで撮影したお写真をさせていただく場合があります。

ステージ



お電話で予約の際は、こちらの座席表をご確認ください▲

